

2021 年 和歌山県フットサルリーグ

コロナ禍対策

運営マニュアル

はじめに

今般、世界的なパンデミックのコロナ禍における緊迫した状況が続いています。

大会運営する中で、我々が一致団結をして大会を実行する為に「コロナ禍対策運営マニュアル」を作成しました。

我々全員が周知徹底して頂きますよう自覚をもって行動をして頂きます様、宜しくお願い申し上げます。

フットサルのカテゴリーの信用も我々の行動が基準となり、他の方には判断されますので、くれぐれも軽視な行動は慎んでくださいます様、チームの中でも周知徹底を再度行うよう重ねてお願い申し上げます。

また今後の情勢により内容の変更があることも想定されますのでご配慮ください。

その際は都度連盟からチーム代表者にご連絡をさせていただきます。

運営における注意点

■施設開場

入館時に運営者全員が健康チェックシートを提出してください。

（万が一その際に37.5度以上であれば入館不可、当日までの体調管理をしっかりとしておくこと、当日体調不良な人がいれば他の人に代わってもらえるように運営担当チームで万全の体制を整えておく）

机や防球板などを用いて体育館の動線を作成する（各施設の動線図を見て段取りよく配置させる）

各設置場所に消毒液と机を配置、入口には備品配置、配列プレートを入り口と出口に貼り付けておくこと、配置完了時間は15分で終了させること

■入館受付

入館する際にチーム関係者、観覧者の健康チェックシートを提出して頂き、入場の際に密にさせない配列を心掛けること（ロビーや入口を混雑させないように）入場者全員の体温を計測。また体温が37.5度以上の選手がいる場合は、少し時間をおいて再度計測すること。それでも体温が高い場合は入館不可とし、帰宅させること。

■MCM

次の試合のチームの代表と審判でMCMを行う（場所については体育館動線マップに基づいて対応する）

そこでも三密にならないように配慮させること

■試合終了後

各チームに椅子・座席の清掃を促してください。

人員の配置について

① 施設内の全体の監査 1名（感染対策責任者）

- ・全体を統括し、選手への動線案内や時間管理を行い、円滑にリーグが開催できるように管理する。
- ・敷地内で三密確認を喫煙コーナーも三密にさせない
- ・入館時にも距離を保たせて並ばせること

② 入口・出口受付 配置2名（計測係 筆記係）

- ・体温計で計測と筆記を分ける 参加者のチェック用紙を保管 再入場の選手の確認
- ・誤って出口から入館させないようにする
- ・再入場の際は、必ず入り口から入館させる

⑤ FDS 入力係 2名

- ・平時の運営と同様

※運営担当チームは各セクション固定配置（持ち場を離れない事）

ー除菌剤パワーテックB I Oの使用方法ー

はじめに、本液体の濃度は少し高めになっています。

皮膚の弱い方には手が荒れてしまうことがありますので、手袋をして使用してください

1. 用意したスプレーボトルの半分くらいまでパワーテックB I Oを入れます。
（漏斗などを使うと入れやすいです。）
2. 容器の残り半分に水を入れ、蓋をした後軽く振ります。
3. スプレーしてから、ペーパータオルやタオルなどで拭き取ってください。

全日程終了後、残った液体は廃棄してから、ボックスに収納してください。